

VMware® vCenter Site Recovery Manager

ディザスタ リカバリの自動化ソリューション

概要

VMware® vCenter Site Recovery Manager の迅速かつ信頼性および管理性に優れたディザスタ リカバリ機能により、組織のディザスタ リカバリ ソリューションを確立することができます。Site Recovery Manager は、リカバリ プランを統合管理し、リカバリ プロセスの自動化を行います。従来のディザスタ リカバリで必要であった複雑な手順書は、仮想インフラストラクチャ管理の一要素として統合されるため、リカバリ プランのテスト プロセスを大幅に向上できます。

メリット

- フェイルオーバーの自動実行による迅速なリカバリ
- リカバリ プランの作成および管理の簡素化
- リカバリおよびテストの簡素化による、リカバリ プランの信頼性の向上
- ディザスタ リカバリのドキュメントおよびテスト要件に関するコンプライアンスの遵守

VMware vCenter Site Recovery Manager について

VMware vCenter Site Recovery Manager は、ディザスタ リカバリ管理および自動化を行う、VMware Infrastructure のための先進的なソリューションです。Site Recovery Manager は、リカバリ プロセスの自動化による迅速なリカバリを実現します。また、仮想データ センター オペレーティング システム管理の一部としてディザスタ リカバリを組み込むことで、ディザスタ リカバリ プランの管理を簡素化します。このソリューションにより、手動での複雑なリカバリ手順が排除され、サービスを停止せずにリカバリ プランのテストを行うことができるため、確実なリカバリが可能となります。

Site Recovery Manager は、VMware Infrastructure、VMware® vCenter Server および主要ストレージ ベンダー製のストレージ レプリケーション ソフトウェアと緊密に連携しており、迅速かつ信頼性および管理性に優れたフェイルオーバーおよびリカバリを実現します。また、ディザスタ リカバリで発生するリスクおよび問題を排除し、重要なシステムやアプリケーションの保護を確実にすることが可能です。

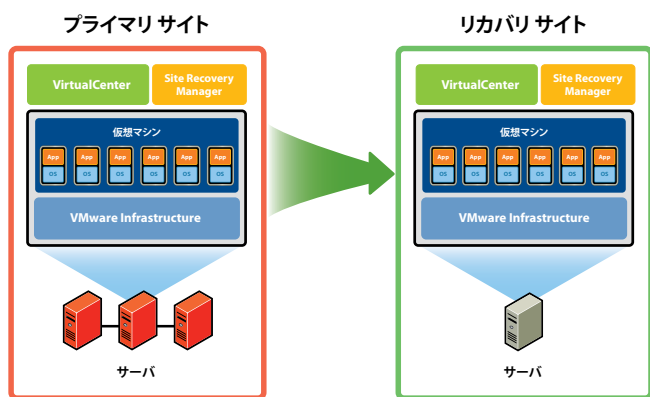
Site Recovery Manager の使用方法

組織のニーズにあったディザスタ リカバリ ソリューションを実現することは、ますます難しくなっています。Site Recovery Manager では、従来のディザスタ リカバリでの課題である、RPO（目標復旧ポイント）、RTO（目標復旧時間）、およびコンプライアンス要件を満たすことができます。Site Recovery Manager を使用すると、本番環境のデータ センターからディザスタ リカバリ サイトへのフェイルオーバー管理が可能となります。また、それぞれアクティブなワークロードをもつ 2 つのサイトで、互いを障害時のリカバリ サイトとして設定し、フェイルオーバーを管理できます。Site Recovery Manager は、新しいデータ センターへのフェイルオーバー プロセスを自動化および簡素化することで、計画的なデータ センターの移行にも対応します。

Site Recovery Manager を使用すると、次のことが可能になります。

ディザスタ リカバリ プランの管理： Site Recovery Manager により、組織は VMware の仮想環境管理の一環として、リカバリ プランの作成、アップデートおよびドキュメント化を行うことができます。従来のディザスタ リカバリ ソリューションでは、すべての手順とフェイルオーバーに必要なリソースをドキュメント化する必要があります。また、リカバリ手順書を常に正確かつ最新の情報に更新することは難しく、ときには不可能な場合もあります。Site Recovery Manager では、フェイルオーバー プロセスの手順およびリソース管理は、VMware vCenter Server より直接行います。

フェイルオーバーおよびリカバリ テストをダウンタイムなしで実行： Site Recovery Manager を使用すると、サービスを停止せずに、リカバリ プランのテストを自動的に実行できます。Site Recovery Manager では、実際のリカバリ プランに基づいたフェイルオーバー構成で、完全に分離したテスト環境を簡単に構築できます。



Site Recovery Manager により、仮想マシンのフェイルオーバーおよびリカバリの管理と自動化を実現

主な機能

自動フェイルオーバーおよびリカバリ： Site Recovery Manager では、リカバリ プランの自動実行が可能です。従来のディザスタ リカバリでは一般的な、信頼性が低く時間のかかる手動プロセスの多くが排除されます。また、Site Recovery Manager では、リカバリ プロセスは計画通りに確実に実行されます。

Site Recovery Manager の仕組み

Site Recovery Manager では、主要要素であるディザスタ リカバリ プランの作成、管理、実行においてユーザーを支援します。このソリューションは、VMware vCenter Server 管理インターフェイスのプラグインとして、仮想インフラストラクチャとそのディザスタ リカバリ プランの統合管理機能を提供します。また、Site Recovery Manager は、主要ストレージベンダー製のストレージレプリケーションソフトウェアと連携しており、VMware Infrastructure におけるストレージレプリケーションソフトウェアの利用を簡素化します。

Site Recovery Manager は、リカバリ プランの主要要素である作成、テスト、実行を簡素化し、さらに自動化を実現します。

・リカバリ インフラストラクチャのセットアップ：

Site Recovery Manager は、リモート サイトおよび使用中のストレージレプリケーションソフトウェアへの接続プロセスをガイドします。また、コンピューティング リソースおよびネットワーク リソースなどの本番環境のリソースを、リカバリ サイトの対応するリソースへ容易にマッピングできます。

・リカバリ プランの作成： Site Recovery Manager の直感的なインターフェイスにより、複数の異なるフェイルオーバー シナリオや、インフラストラクチャ内のさまざまな場所に対応するリカバリ プランを作成することができます。ユーザーは、サスペンドまたはシャットダウンする仮想マシンを指定して、リカバリ時にリソースを解放することができます。さらに、パワーオンする仮想マシンの順番の指定、自動実行のためのユーザー定義スクリプトの設定、また必要な場合は、リカバリ プロセスを停止する箇所の指定が可能です。

・リカバリ プランのテスト： Site Recovery Manager は、ストレージアレイのスナップショット機能を活用し、仮想マシンを隔離されたテスト用ネットワークに接続することにより、ダウンタイムなしで、分離されたテスト環境をリカバリ サイトに自動的に作成します。また、実際のフェイルオーバーで使用するリカバリ プランを自動的に実行し、テストが完了するとそのテスト環境をクリーンアップします。テスト結果は保存され、いつでも表示したり、エクスポートすることが可能です。

・フェイルオーバーの自動化： システム管理者が VMware vCenter Server を使用してリカバリ プランを実行すると、Site Recovery Manager は手順を自動的に実行し、計画通りに確実にリカバリします。管理者は、vCenter Server でリカバリ プランの実行をすべて監視できます。また、いつでも一時停止または停止できます。

環境の変化に応じて、ユーザーはいつでも vCenter Server を使用してリカバリ プランを更新または修正できます。

Site Recovery Manager の主な機能

ディザスタリカバリ管理

- ・ストレージベンダーによって認定されたストレージレプリケーション機能により保護される仮想マシンの検出と表示。
- ・vCenter Server からリカバリ プランを直接作成および管理。
- ・カスタムスクリプトによるリカバリ プランの拡張。
- ・リモートサイトの可用性を監視し、サイト障害の危険性をユーザーに警告。
- ・vCenter Server からのテストおよびフェイルオーバーの実行結果を保存、表示、およびエクスポート。
- ・ロールベースの詳細なアクセス制御により、リカバリ プランへのアクセスを制御。

無停止のテストを実現

- ・ストレージスナップショット機能を使用したリカバリ テストの実行。複製元のデータは影響を受けない。
- ・テストのために、既存の分離されたネットワークに仮想マシンを接続。
- ・リカバリ プランを自動的に実行。
- ・テストシナリオに合わせてリカバリ プランの実行をカスタマイズ。
- ・フェイルオーバー テストの完了後、テスト環境を自動的にクリーンアップ。

フェイルオーバーの自動化

- ・vCenter Server からボタン 1 つでリカバリ プランの実行を開始。
- ・リカバリ シナリオでの使用に合わせてデータストアを自動的に複製。レプリケーションプラットフォームには、主要ストレージベンダー製のアダプタを使用。
- ・リカバリ作業中にユーザー定義のスクリプトを実行および停止。
- ・フェイルオーバーサイトのネットワーク構成に適合するように、仮想マシンの IP アドレスを再構成。
- ・vCenter Server でリカバリ プランの実行を管理および監視。

詳細情報

当社製品のご購入、または詳細情報については、弊社営業部門に電話 (03-4334-5600) またはメールでお問い合わせいただくか、Web サイト (www.vmware.com/products) を参照してください。製品仕様およびシステム要件の詳細については、『Site Recovery Manager install and configure guide』(英語のみ) を参照してください。